



平成二十七年

夏期レクリエーション 日帰りバス旅行開催

毎年恒例の日帰りバス旅行が今年も「伊香保温泉と榛名山ロープウェイ・水澤観音参拝の旅」とし、8月19日水曜日に43名が参加して行われた。

午前七時半、神田東靴協会前を参加者を乗せバスは出発し、首都高速から関越道へ、途中三芳P.A・駒寄P.Aで休憩を取り、伊香保ICを経由し榛名山へ向かった。車中では朝食のパンと飲み物が配られ朝早かったため朝食をとっていない人も多く好評だった。ロープウェイに分乗し榛名山へ、天候にも恵まれ眼下に広がる見事な大パノラマを目に焼き付けた。

山頂では榛名山神社に参拝を済ませて下山した。

昼食会場の「水澤万葉亭」には予定の時間に到着。今回は最初に入浴を済ませ、その後会場で昼食と休憩となった。ほとんどの方が入浴を済ませて会場に集合し、松戸副会長の司会で懇親会となった。



2015.8.19 一般社団法人東靴協会
榛名山・伊香保温泉

一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(9月号)

小堤会長が、「天候が不順で猛暑が続いていますが、ここは東京と比較すると涼しいようです。温泉で日頃の疲れを癒していただいたことと存じます。今年協会の役員の改選期でした。5月に行われた総会で、矢代氏・川上氏の前副会長は相談役に、新たに松戸氏と栗原(昭)氏が副会長の職に就きました。本日は都合で欠席している栗原(茂)副会長の3名とともに、こ

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

の新体制で運営してまいりますのでよろしくお願いいたします。と挨拶。続いて川上相談役の発声で乾杯に移った。
風呂上がりのビールは格別だった。地元の食材を中心とした会席料理に舌鼓。
その後、恒例のカラオケ大会で、多数の皆様が自慢のものを披露し盛り上がった。



くつろいだ後は、近くの「水澤観音」へバスで移動。ここでも参拝を済ませ、開放されていた「資料館」を見学、数多くの仏像や観音様を見学し、うどん茶屋「水澤万葉亭」へ移動。道添えに水澤うどんの店舗が数多く並んでいた。

試食の水澤饅頭と水澤うどんを振舞われた。参加者に土産として、このうどんを積み込み帰路に就いた。
途中若干の渋滞もあったが、順調にすすみ池袋で二部の方が下車し神田に向かった。今回の旅行は、近郊のためスケジュールにもゆとりがあり好評だった。天気にも恵まれ充実した楽しい一日となった。

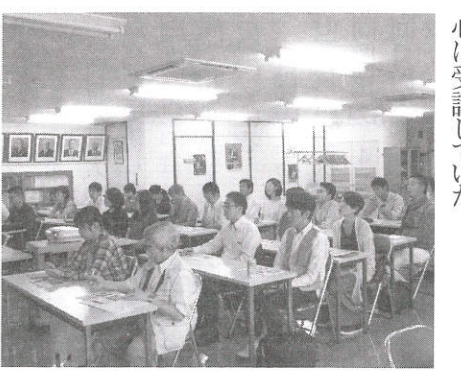
シューフィッター H既得者勉強会

表記勉強会が8月27日(木)午前10時より12時まで東靴協会西村記念ホールにおいて22名が参加して開催された。
講師には都立城東職業能力開発センター台東分校製くつ科講師の鈴木信行氏にお願いし「靴合わせの基本と問題点」と題し行われた。



まず講師の自己紹介から始まり、フィッティングについて、爪先の余裕・爪先の高さ・ボールガース・ウエストガース・インステップポイントなどを説明。靴合わせの重要さを解説した。
続いて足の骨格とアーチの役目と講義は進んだ。

日本人の足の変化の説明では1977年と2008年の男性・女性の足長・足囲・足幅の変化を表にして説明をした。
また、お客様が履いている靴には情報が満載している。アッパー部のシワ・変形・トップライン。底面の減り方。内側を見ると中敷き・アーチ部・爪先・踵の汚れや摩耗などから歩き方の予想がつく。など、最後にお客様に信頼されるシューフィッターになるよう注意事項や心がけの話で講義は終了した。参加者は熱心に受講していた。

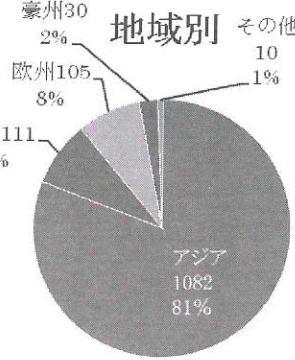


インバウンド 外国旅行者の状況

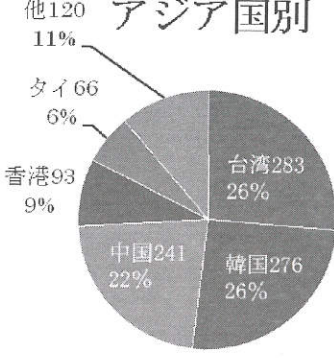
インバウンドと言われている「訪日外国人旅行者」が増加している。

先日発表された数は、7月は192万人、本年1月から7月までの累積が1105万人、本年は1800万人を超える予想されている。過日、日本皮革産業連合会では「インバウンド対策セミナー」を開催した。ここに抜粋して報告する。

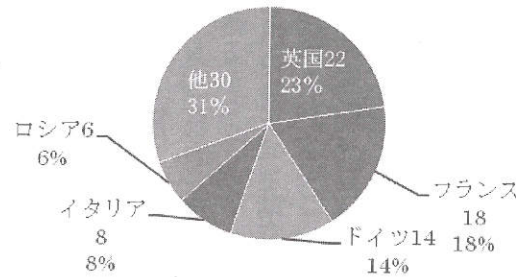
◎訪日外国人旅行者数と割合(2014年調査単位万人)



◎地域を国別でみる



欧州国別



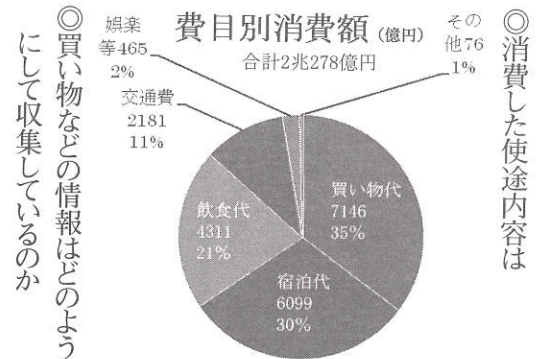
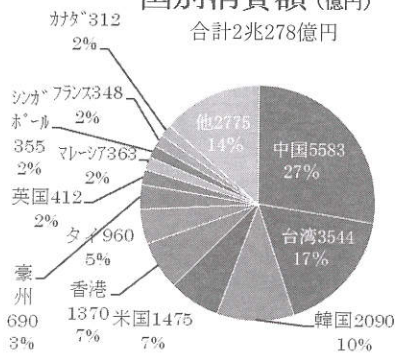
☆北米国別(表省略)

米国111万人(86%)
カナダ18万人(14%)

◎訪日外国人の旅行消費額
2014年の訪日外国人の旅行消費額は2兆278億円と推計、前年の1兆4167億円と比べ43.1%増となり、過去最高額となった。

国別消費額(億円)

合計2兆278億円

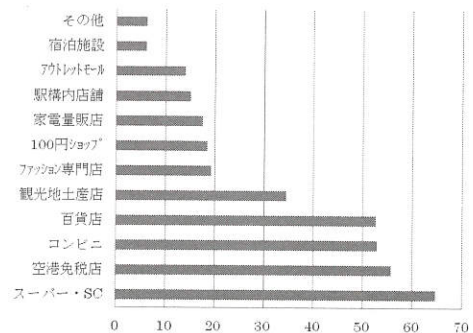


◎買った使途内容は、消費した使途内容にして収集しているのか

全体	台湾	韓国	中国	香港	米国
1位 検索サイト	個人のブログ	個人のブログ	検索サイト	日本政府HP	日本在住知人
2位 個人のブログ	日本政府HP	検索サイト	特になし	検索サイト	検索サイト
3位 日本在住知人	旅行会社HP	他のインターネット	日本在住知人	個人のブログ	自国の知人
4位 ガイドブック	検索サイト	特になし	自国の知人	旅行会社HP	他のインターネット
5位 自国の知人	旅行会社HP	ガイドブック	ガイドブック	宿泊施設HP	ガイドブック

全体	台湾	韓国	中国	香港	米国
1位 ネット・スマホ	ネット・スマホ	ネット・スマホ	ネット・スマホ	ネット・スマホ	ネット・PC
2位 ネット・PC	ネット・PC	特になし	ネット・PC	ネット・PC	ネット・スマホ
3位 日本在住知人	宿泊施設	ネット・PC	特になし	案内所(空港)	日本在住知人
4位 案内所(除空港)	案内所(空港)	日本在住知人	日本在住知人	宿泊施設	案内所(除空港)
5位 特になし	案内所(除空港)	案内所(除空港)	案内所(除空港)	案内所(除空港)	宿泊施設

買いもの場所(％・重複あり)



◎買い物はどこで買うのか

◎買い物で満足をした物品を、国別5位迄を左記の表にした。

訪日外国人の満足率上位物品

全体	台湾	韓国	中国	香港	米国
1位 菓子類	菓子類	菓子類	菓子類	菓子類	食料品
2位 食料品	医薬品	食料品	化粧品	服・靴・靴	菓子類
3位 服・靴・靴	食料品	化粧品	食料品	食料品	和服
4位 化粧品	服・靴・靴	服・靴・靴	医薬品	医薬品	服・靴・靴
5位 医薬品	化粧品	医薬品	服・靴・靴	化粧品	書籍

食料品には飲料・酒・たばこを含む
化粧品には香水を含む
医薬品には健康グッズ、トイレタリーを含む

服・靴・靴の服には和服は除外
書籍には絵葉書・CD・DVDを含む

「爆買い」は続かない

訪日外国人の消費額は過去最高を更新した。その4割を中国人(台湾含む)が占めた。年間で43%も増え段と増加傾向が続いている。

百貨店協会の調査では4月の百貨店免税売り上げは前年同期比32.4%の197.5億円と同月の十大都市百貨店売上の6.2%を占めた。

百貨店はもちろん駅ビルやSCも外国人観光客の取り込み懸命だが、この勢いはいつまで続くのだろうか。

急激な円安、関税や消費税、流通の非効率などによる中国価格差も大きな要因だ。日本製品の中国国内価格高。欧米ブランドは更に割高だ。偽物不振も加わり訪日中国人の爆買いを招いている。バブルを経験した日本も90年代は市場開放政策と供給過剰によるデフレで経済が急速に委縮した。中国が同じ経緯を辿るとすると、遠からず急減して行くことになるだろう。為替もいつ円高に転ずるかも知れず、本質的な経営改革を先延ばししていると、波が引いた時、経営は一気に悪化する。とは言え政府も観光立国と位置づけ訪日外国人の消費に期待もしている。改めて爆買いと健全経営を考えて行きたい。

靴マーケットインデックスと情報と 45秋冬 売上げ傾向予測

過日、当協会の商品情報でもお馴染みの(株)アジアリングの表記のセミナーが開催された。ここに抜粋して掲載する。

※全世界の消費支出の動向

(財)日本統計協会の家計調査報告の最新レポートによれば、勤労者の収入は2013年4月をピークにして、2015年3月まで18ヶ月間減少を続け

10大費科目の対前年同月実質増減率

(2014年8月)

項目	金額	同月実質増減率	適用
消費支出	317,579円	△10.6%	18ヶ月連続実質減少
食料	72,243円	△5.7%	酒類・穀類など減
住居	17,770円	△16.0%	設備修繕・維持費は増
水道・光熱	30,000円	△3.0%	電気代・ガス代など減
家具・家事	10,414円	△39.6%	家庭用耐久財・家事用消耗品減
被服・履物	13,185円	△17.9%	洋服、下着など減
保険・医療	13,490円	△13.2%	保険医療用品、器具、医薬品減
交通・通信	47,251円	△16.1%	車関係費、交通費大幅減
教育	12,273円	3.1%	補習教育、教科書、参考教材増
教養・娯楽	30,261円	△14.0%	教養娯楽用品・耐久財減
その他	70,692円	△5.2%	諸雑費減

ている。一方消費支出は2014年3月までプラスを続けたが、2014年4月以降は消費増税の駆け込み需要の反動で、昨対を大きく割り込んだ。本年度3月の速報値では春はやや持ち直したものの、まだ水面下にある。アベノミクス効果と実体経済は大きく乖離しているだけに、今後の消費動向の行方が気になる。

※靴・履物の消費支出は堅調

靴・履物類の消費支出は、前消費支出がマイナスを続けているのに反して、一昨年4月から順調に推移している。昨年2013年度の靴・履物類の年間通算伸び率は106.3%で、バブル崩壊以降の好調さを記録した。消費増税後も2014年4月から2015年3月期の1年間は99.7%と堅調だった。増税後の落ち込みは少なく、品目別では運動靴105.1%と絶対好調、婦人靴は99.9%と昨対並み、子供靴と男子靴は昨対を下回った。

※靴専門店現場情報

2013年の実績は102%と久しぶりに前年を上回り、2014年の通算108%と大幅にクリアした。安倍バブルの追い風に乗せて、モダン・スポーティブ感覚が強まりカジュアルが絶対調だ。レディースにフラットシューズやスニーカーが人気を呼んでいる。メンズは「昨年超不振の反動もあって昨年は前年を上回り、消費増税の駆け込み需要もあり昨対105%を記録した。本年は反動で91%と昨対を下回った。スポーツは増税後の落ち込みはなく、本年も106%と絶対好調を続けている。靴がファッション・トレンドの主役になったことや消耗性も高く、生活必需品的な性格を併せ持つからである。2015年は消費増税後はモダン・スポーティブの流れが強まり、スニーカーとカジュアル・スポーツは、1995年のバブル崩壊以降空前の売上げが期待できる。

※安倍バブルに乗せる戦略

アベノミクスの進展が景況を押し上げ、気分は「躁」へ移行して、カジュアル色が強まった。レディースは消費増税後の落ち込みは少なく、モダンなウエッジパンプとカッター、スニーカーライクな

カジュアルスポーツが、絶対調な動きを示している。
女性は靴を買うのに好き嫌いで選び、高い安いでは選ばないからだ。

秋冬に掛けて、スニーカーライクな革ブーツが期待される。長く履ける革の高品質物を提案して、単価アップによる業績向上を目指したい。

スポーツ部門は景気回復によつて売上げは絶対好調である。今秋も、シューズライクなスニーカーが好調な動きを示すだろう。これから各カテゴリー共にハイテクモデルが注目される。久しぶりに大型商材が登場するスニーカー部門から目が離せない。

※秋冬・商品伸長率予測

注目度の印し ◎本命

○準本命

△注目

増減は昨対との予測

☆レディース

エレガンス(パンプ)

丸物(高寸) 減少

(中寸) △横這い

(低寸) 増加

カジュアル

カッター 横這い

スポーツ ◎増加

ソフトスポーツ ○増加
マニッシュ ○横這い
ウオーキング 減少

ブーツ

ブーティー ○横這い

ハーフ・ショート 減少

ロング 横這い

ニーハイ 減少

☆メンズ

ドレス(タウン・ビジネス)

トラッド 横這い

モード 減少

高機能(撥水等) △増加

カジュアル

モード系 減少

アウトドア系 横這い

ウオーキング 減少

スポーツ ◎増加

ブーツ

モード系 減少

アウトドア系 ◎増加

ドレス系 増加

スニーカー(メンズ・レディ)

ランニング ◎増加

コート系 ◎増加

アウトドア系 増加

ブーツ系 ○増加

モード系 横這い

☆チャイルド

コート系 ○増加

クロストレ 減少

ランニング 増加

ブーツ系 増加

理事会・支部連絡会

だより

平成二十七年八月二十五日
午後2時、西村記念ホール

小堤会長より「急に涼しくなりましたが体調には留意して下さい。業界はアカクラさんの問題やら2、3の間屋が倒産するなど厳しい状況ですが、更に中国の減速の影響で株価が大きく後退しています。巡り巡って我々中小企業にも影響が出るかもしれないと思いません。気を引き締めないとなりません。健康に注意を払いながら頑張りますよ。」と挨拶。
続いて司会の松戸副会長より、本日の出席者数が26名との報告の後、議事に入った。

一、夏期学校講座

工場見学の結果について
栗原(昭)副会長より、8月6日に行った(株)村井吉見工場見学の様相を、パッキング講座を含めた詳細について報告。整然とした作業の環境や社員の皆さんに大変お世話になったことを述べた。

二、夏期レクリエーションの結果について

松戸副会長より、8月19日

に行った榛名山・伊香保温泉レクリエーションについて報告。43名の参加で、今回は昼食前に入湯して頂くというスケジュールを採用してみました。川上相談役の講評では、少し忙しい面もありましたが新たな試みは概ね好評であったようです。と報告。

三、「靴まつり」の実施詳細

ポスター他配布について
田中省二理事より、本日配布されたポスター他ツールと催事内容について改めて紹介、特にアンケート内容についての詳細と重複応募や関係者応募など注意事項についてさらに詳しく説明がなされた。

四、シューフィッター既得者勉強会について

小堤会長より、明後日8月27日木曜10～12時、当ホールにて鈴木信行講師による既得者勉強会「靴合せの基本と問題点」が開催されます。と報告。

五、シューフィッター養成講座募集締め切りについて

佐宗専務理事より、10月14～16日の委託講座の応募状況について、二応今月末に締め切ると連絡。次回は年が変わって1月になると報告。

六、その他

栗原茂副会長より、水飼茂先生の15AW商品レポートの紹介があり、中寸、ブーティ、フラットカジュアル、引き続きスニーカーなどが核になる。(別項参照) 一次の輝きを失ったケミカル問屋の倒産、廃業が目立つと報告。

引き続き、佐宗専務理事よりスケジュール他の連絡があった。

デザートが「イノヴェイト」を買収
19年に現在の2.4倍の87億円の売り上げを計画

デザートは、欧米をはじめ世界約60か国で「Howe(イノヴェイト)」「ブランドのトレイルランニングシューズなどを展開するHoweグループの80%の株式を8月4日に取得し、子会社化した。

同社は、中期経営計画「Compass2015」のなかで、グローバル化を目指すとともに、強みであるウエアに加えシューズを始めとする他の分野にも事業領域を拡大するとしており、今回の取得はその一環。

デザートグループは、2013年春夏から「イノヴェイト」を独占ライセンス契約のもと日本を始め、韓国、台湾で販売してきた。

今回の子会社化はイノヴェイトグループがもつ高い開発力を活用して同社グループのシューズ事業全体を拡大させるとともに、両社の強みを活かしたグローバルな事業拡大を目的としている。
イノヴェイトは2003年にウエイン・イーディー氏によって創業された新進気鋭のブランド。欧州、米国でトレイルランニングを軸にパフォーマンススレーニングシューズも販売。数々の賞を受賞するなど、機能性とデザイン性が高く評価されている。

東京都中小企業景況調査 {7月}

業況：全業種・全規模で後退
見通し：先行きにやや懸念

卸売業			業況					
対象数	回答数	回答率	7月		今後3か月間見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
875	380	43.4%	-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男子服							
	2. 婦人・子供服							
	3. 靴・履物							
	4. かばん・袋物							
	5. 装身具・身の回り品							
小売業			業況					
対象数	回答数	回答率	7月		今後3か月間見通し(当月比)			
			悪い	良い	悪い	良い		
875	289	33.0%	-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具							
	2. 男子服							
	3. 婦人服							
	4. 子供服							
	5. 靴・履物							
	6. かばん・袋物							
	7. 雑貨・身の回り品							
	8. 時計・眼鏡							
	9. ジュエリー製品							

景況についてのアンケート結果 (対象月…27年8月)

- ▶ 全体的な業況
 - 良い 16.7%
 - 悪い 50.0%
 - 変わらず 33.3%
- ▶ 売上げ
 - 前月比
 - 増えた 0.0%
 - 減った 58.3%
 - 同じ 41.7%
 - 前年同月比
 - 増えた 25.0%
 - 減った 41.7%
 - 同じ 33.3%
- ▶ 販売価格は前月比
 - 騰貴した 25.0%
 - 下落した 0.0%
 - 同じ 75.0%
- ▶ 販売経費は前月比
 - 増えた 8.3%
 - 減った 8.3%
 - 同じ 83.4%